



価値共創によるブランディング

【キーワード】

地域ブランド	CSV	関係性マーケティング	価値共創	コミュニティ・デザイン
--------	-----	------------	------	-------------

■概要

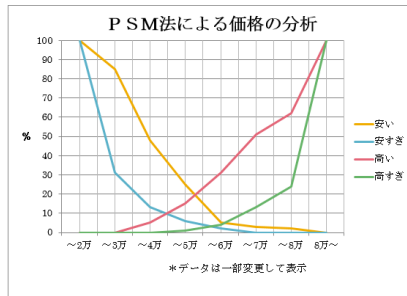
地域創生の具現化には、それに携わる組織が地域の資産や価値を適切に把握し、それらを地域内外へ有効に伝えなければなりません。また、現代の企業にあっては、地域ブランド向上や社会課題の解決に積極的に取り組むこと(CSV:Creating Shared Value, 共通価値の創造)が求められています。この取り組みを通じて、ブランド・イメージの向上や従業員の能力が高まるなど、企業価値の向上につながると認識されるようになりました。我々の研究室では、企業、自治体、諸団体とともに、地域ブランディングやCSVの調査、研究、社会連携に取り組んでいます。

■取り組み事例の紹介

〈カワイニイガタキモノプロジェクト〉

本プロジェクトでは新潟市内の貸衣装店、県内の織物メーカーと卒業式用の晴れ着の商品開発を行っています。新潟の若い女性が卒業式という晴れ場で、新潟の伝統衣裳に袖を通すという感動体験を通して、新潟の織物あるいは新潟という地域に愛着を抱いてもらうことを目的とし、県内織物産業の活性化に寄与しています。

大学生の発想を引き出すワークショップによるデザイン決定、マーケティング調査による価格帯の導出により製作を行いました。製作後は大学内での着物撮影会、新潟美人100人会議などにてのファッションショー、SNSを通じたプロモーションを展開しました。



〈小千谷ブランディング・プロジェクトでのヘルスツーリズム〉

本プロジェクトでは小千谷市内の企業、地域団体と連携し、地域資産の掘り起こしと発信を行ってきました。本年度は市内の名所をめぐるサイクリングコースを設定し、体験価値の提供による地域ブランディング、次世代への担い手育成を目的としたヘルスツーリズム調査を展開しています。

大学生の視点から提案するサイクリング

「明治維新を確定つけたレガシー探索」

①社会人コース【約30 km】

(長岡⇨) 市内各地 ⇨ 越の大橋 ⇨ 朝日山古戦場

⇨ 慈眼寺 ⇨ 船岡公園 ⇨ ちぢみの里

※小千谷市内の人々に小千谷市の魅力を伝える

②小学生コース【約10 km】

各小学校⇨慈眼寺⇨船岡公園⇨そなえ館⇨ちぢみの里

※小千谷市内の小学生に地元の良さを伝える

体験価値によるブランディング

- ◆愛着絆 (人の温かさ)
- ◆自己実現 (刺激・感性)
- ◆ゆとり (ストレスレス)
- ◆感覚清浄 (日常からの解放)
- ◆健康(健康寿命)

次世代の担い手育成

- ◆地元への誇り(シビックプライド)
- ◆地元企業への就職(Uターン就職)



・地域ブランディングの施策に積極的な自治体、地域や社会への貢献を志向する企業や団体の皆さまとのコラボレーションを期待しています。

本研究の問い合わせ先

新潟大学 地域創生推進機構

TEL:025-262-7554 FAX:025-262-7513 E-mail:onestop@adm.niigata-u.ac.jp

